



創立87周年

# 武の子

かしこく うつくしく たくましく  
(since 1969)

鹿児島市立武小学校 学校だより

〒890-0045 tel099-255-6136

鹿児島市武1丁目35番31号

<http://www.keinet.com/takes/>

## 10月号

児童数  
599名  
学級数  
24学級

令和5年10月

## 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）

学校長 杉木 正一郎

鹿児島市では、令和5年度までに全ての学校に「学校運営協議会」が設置されました。武小学校にもこれまで「学校評議員会」という組織はありましたが、それを改め、本年度から学校運営協議会が動き始めています。

学校運営協議会は、学校運営や、学校運営に必要な支援に関する協議を行う場です。校長は学校運営の基本方針や、学校運営・教育活動について委員に説明します。委員は、校長が作成した学校運営の基本方針を承認したり、学校運営について教育委員会や校長に意見を述べたり、教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べたりすることができます。従来の学校評議員会の委員と比較して、より強い権限をもつとともに、学校運営に深く関わるという大きな責任も生まれます。

本校の学校運営協議会の委員は、本校のPTA役員、あいご会役員、おやじの会代表、武中学校のPTA役員など現役の子育て世代の方々はもとより、元PTA役員、同窓会役員など本校のために長きにわたり御尽力いただいているの方々、そして、町内会、武校区まちづくり協議会、民生委員、児童委員など学校を支えてくださっている地域の方々などで、全部で10名です。このような幅広い方々から学校運営の基本方針などについて御意見をいただくことで、学校は、保護者やそのOB、地域の声を取り入れ、学校を取り巻く地域・社会とより一層深い関わりをもちながら教育活動を行っていくこととなります。

学校運営協議会制度を取り入れた学校のことを「コミュニティ・スクール」と呼びます。「コミュニティ」は「地域社会」あるいは「共同体」のことで、地域社会と一体となった学校ということを示しています。これからは、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と地域が共有し、それぞれの役割を明確にしながら連携・協働してその実現を図っていくことが求められています。

地域と学校が連携・協働して行う学校内外における活動のことを「地域学校協働活動」と呼びます。幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支える活動で、例えば、校区の歴史などについて地域住民から学び、調べたり発表したりする学習活動や、放課後等に子供を対象として行う学習や体験・交流活動といった「放課後子供教室」、登下校の見守り、本の読み聞かせ、授業の補助などが例として挙げられています。その他にも全国では、生徒指導上の課題解決の取組、不登校対策の取組、学校における働き方改革の推進など、課題解決に向け、学校と地域が一体となって特徴的な取組を行っている町や学校もあります。文部科学省のHPでも紹介されていますので、よろしければ下のアドレスまたはQRコードからアクセスし、御覧になってください。（<https://manabi-mirai.mext.go.jp>）

本校でもどのような地域学校協働活動が行えるのか、今後協議をしていくこととなります。保護者、地域の皆様の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

学校運営協議会は、特別の事情がない限り公開することとなっています。年間4回開催されますので、会議の傍聴を希望される方は、どうぞ学校へお問い合わせください。

